

# 山梨青年

## YMCA NEWS

9

年間聖句：何よりもまず、心を込めて愛し合いなさい。愛は多くの罪を覆うからです。

ーペトロの手紙Ⅰ 4章8節



2023年9月25日 発行  
公益財団法人山梨YMCA  
〒400-0032  
甲府市中央3-10-7  
Tel.055-235-8543  
fax055-235-8553  
www.yamanashiymca.org  
発行人 / 中田純子  
編集人 / 風間奈月



## アジア太平洋地域ユースコンボケーション

風間 奈月

私はこの度、8月25日から29日にネパールで行われたAsia Pacific Area Youth Convocationに参加をさせていただきました。私は、今回の研修で日本チームの団長としての役割を担い、参加させていただきました。渡航前、団長を任命された際は非常に不安でした。「団長らしく、チームをリードしていけるのか。団長らしいことをできるのか。」という風にネガティブな感情しか湧かなかったことを覚えています。しかし、「団長らしさ」ではなく「自分らしさ」を優先にありのままの自分でやっぴいこうと心に留めながら過ごしました。振り返ってみると、至らない点はたくさんあったと思います。しかし、山梨YMCAのスタッフとして、そしてチームの団長として、日本チームの一員として、常に責任感を持ち、日本人16人全員を、ありのままの私で、そして私なりのリーダーシップの取り方でバランスよくリードしつつ見守ることを心掛けました。この団長の経験によって、渡航前の「不安」は、帰国後「自信」に変化する、ということを実感することができました。それも、私だけの力だけではなくメンバーひとりひとりが持っている神様からの賜物、そして全員がリーダーシップを持っていたからです。1人が上に立ちリードをするのではなく、全員が素晴らしい働きをしてくれました。日本チームは閉会式で、合計で3つの賞をいただくことができました。1つは、'Biggest Delegation Award'です。最も参加者数が多かった国に送られる賞です。2つ目は、'Best Presentation Award for Local Food & Games'です。日本の文化紹介を行い、平和の象徴である「折り鶴」を参加者の皆さんで共に作りました。3つ目は、'Most Vibrant Delegation'です。日本で流行したダンスを披露し、会場全体を盛り上げることができました。まさに一体感を感じた瞬間でした。

各国のユースとの交流の中で改めて、ユースの力強さを感じることができました。これからの時代を担うリーダーとしてふさわしい人ばかりでした。自分の意見を持ち、発信する、そしてそれを同世代で共有することによって、同じゴールを見据えて一緒に進んでいくことができると思いました。それが、やがて「世界を少しでもより良くする」ことに繋がると私は信じています。プログラムの中でのディスカッションでも、「日本はかなり発展している国だけど、貧困問題はあるの?」と疑問を持つ人がいました。日本の現状を知ってもらうことで、世界共通の問題であるということを確認し、解決するには、ユースがそれぞれの自国へ戻ってからのユースアクションが重要であることを感じました。また、私はこの度のAYCで、Area Youth Representativeに就任いたしました。アジア太平洋地域のユースの代表となり、これから国内や世界のユースたちと共に活動をしていきます。正直、私自身もこのような展開になり非常にドキドキしています。しかし、マタイによる福音書5章13節「あなたがたは地の塩である。だが、塩に塩気がなくなれば、その塩は何によって塩味が付けられよう。」とあるように、一人一人がこの世にあってなくてはならないもの、貴重な存在であることを心に留め、YMCAユースとして山梨、国内、そして世界へ働きかけていきたいと思っております。

ネパールで開催した「アジアユースコンボケーション2023」に山梨YMCAスタッフを派遣させて頂きました。5日間のプログラムを終え、8月末に無事、帰国いたしました。さらに5日間のプログラム中、団長という役割を任せ、終了後もアジア・太平洋地域のユース代表としての働きに導かれ、活躍の場が与えられました事に感謝いたします。派遣したスタッフは、新卒入職4年目のスタッフです。彼女に初めてお会いし「あなたの夢はなんですか」と質問「世界の人々の為に海外で活躍したい。」と私に伝える姿がありました。アジアユースコンボケーション2023への派遣のお話を頂き、私の中で咄嗟に浮かんだ人の姿は最初にお会いした彼女でした。

YMCAは人々の夢の実現を可能にする場所であると願います。神様により賜物として用いられた私も夢を語り、時を感じ道があることに気がついた1人です。その為、サポートすることを誓い今に至っています。今こうして彼女が語った言葉が形になる時が訪れました。これからも彼女の動向を見守って頂きお支えください。山梨YMCAといたしましては、ひとつの良きモデルとしてユースの育成に力を注いでいきます。また、YMCAには多くのユースがおります。自分を見つめ自分に問いかける彼らにこれからも寄り添っていただけますよう重ねてお願いいたします。私も総主事としてYMCAに集うスタッフ、メンバーひとり一人が自分の夢を語り夢が何者かを知り、自分が豊かな恵みに守られていることを一緒に喜び、感謝できるように寄り添うことを休めず祈りを守り進んでまいります。

## 夏季プログラム報告

### 野の花保育園

野の花保育園では今年も「夏祭りごっこ」を行いました。盆踊り、お神輿、屋台ごっこ、金魚すくいなどお楽しみがたくさんのお祭り。子どもたちは好奇心で目を輝かせ、「やってみたい」気持ちに溢れていました。

お神輿には春から今までの遊びを振り返ることができるように製作物を飾りました。製作物を指差し、「これやったね!」と嬉しそうな子どもたち。友だちや保育者と嬉しさや楽しさを共感しながら、はじめてお神輿を担ぎました。屋台ごっこでは1歳児さんは憧れの2歳児さんの真似をしてみたり、2歳児さんは1歳児さんにやさしく教えてあげたりする姿が見られました。（降矢久美子）



### ぽかぽか教室



ぽかぽか教室では、夏の暑さを生かしたプログラムを行いました。「暑い」からこそ「涼しい」「冷たい」が心地よく感じられます。水遊びや寒天遊びなどの感触遊びを楽しむと、「つめた〜い」「きもちいいね」思わず言葉が飛び出してきました。そうめん作りでは、今まで一度もそうめんを食べたことがなかった子も美味しそうに食べたり・・・今年の夏も沢山のことを友達や職員と経験し、様々な表情と成長をみせてくれました。9月からは秋ならではのプログラムを計画し、夏と同じくみんなで楽しんでいきます。（守屋瑞穂）



## きらきら教室



夏休みプログラムを楽しみにしていたお友達も多く、昨年実施できなかった外出プログラムを多く実施することができました。

カヌー体験では最初は上手に漕げなかったお友達も徐々に慣れていき「楽しい。またやりたい。」と話してくれました。本館合同プログラムの夏祭りでは看板づくりやお店番など協力し合いながら行うことができました。「夏休み楽しかった。」という声が聞かれ、夏休みに体験したこと、学んだことが今後の生活の糧になり成長に繋がることと思います。  
(天野絵梨子)



## プライムタイム



今年の夏休みプログラムは「世界を知ろう」がテーマでした。「世界の食べ物発見!体験!」ではトロピカルドリンク作りをしたり、「ボードゲームで遊ぼう」では各国の遊びを体験したりと様々な角度から「世界」を学ぶプログラムがこの夏は多かったです。また、南極観測隊で働いていた方をゲストとしたプログラムでは、貴重なお話を聞くことができ、充実した内容となりました。今年は、お出かけプログラムもたくさん実施することが出来、盛沢山の夏休みとなりました。(武石かずさ)



## 甲府市放課後児童クラブ (にじの家)

今年のにじの家は、「世界を知ろう」をテーマに、タイの旧正月のお祭りである「ソンクラーン」や、南極観測隊の方をお招きした「南極について知ろう!」などグローバルに視点をおいたプログラムを実施しました。また今年は、プライムタイムのお友達と一緒に過ごし、プログラムを縦割りの班で行動をしました。班のなかでリーダーシップを発揮する子がいたりと普段では見られなかった一面を見ることができました。(佐藤健一郎)



## キッズパラダイス

今年の夏は「世界を知ろう!」をテーマに、国際的なプログラムを行いました。Discover Indiaでは、インド出身のゲストを招いてインドについて知り、みんなでダンスをしたり、本場のインドカレーを食べたりしました。子どもたちは沢山のスパイスの種類に驚いていました。



また、ピースウィークでは戦争についてのディスカッションを行い、「自分やお友だちのことを知っているようで知らないね」という話になり、「Figure me out」というワークショップを行いました。「〇〇ちゃん、白色が好きだったんだね!」「おじいちゃんも一緒に住んだの?」など、お互いに理解を深める姿が見られました。今後も引き続き、「世界を知ろう」をテーマに、子どもたちの興味を広げていきたいと思っています。(仙洞田結)



## 南西望みの家



南西教室では、プライムタイム・きらきら教室・きらきらプラスの3事業所、全て合同で行われました。今年度は、何度か外部の方に依頼をし、プログラムを行いました。パルシステムの出前講座やフライングディスク協会の方々、また大型紙芝居の方に依頼をし、子ども達は普段できない体験をこの夏休みを通して行うことができたと思います。

また、山梨県立図書館で行われた甲府YWCA主催の「ピースフェスタ」に行き、写真や絵本などの展示物、また山梨YMCAの子どもたちが描いた「平和の絵」を見て、平和を共に願うひと時になりました。（久保川美江）



## りんごの木



夏休み前、皆でまいた朝顔の種。なかなか花が咲かず毎日の水やりが日課となり、いつもの散歩コースでは青い空に大きな白い雲、田んぼの稲の緑が美しく目に飛び込んできます。いよいよ夏休みのスタート。紙コップ工作や紙すき体験。ピースプログラムでは食育、絵本、アートの側面から取り組み、1人1人の存在が大切に笑顔でいることが平和であること。みんなで手を取り合い一緒に楽しい！を共有しました。夏まつりに向けチケット、看板作りなど準備を進め当日は親子で過ごす楽しい時間となりました。野外活動や買い物体験にもでかけ社会経験を積みました。夏休みの経験がそれぞれの未来につながる力の根になることを願いながらまた今日も色とりどりに満開に咲いた朝顔と共に子どもたちを「おかえり！」と迎えています。（小宮山沙織）



## 野外プログラム



野外活動の魅力は何よりも本物に触れること。南アルプスの天然水の中を歩く、湖で泳ぐ、粉がそばになっていく、たわたわに実るブルーベリーの実、樹

齢400年の杉並木の高さ、雲の上の大草原の大きさ、ニジマスや牛の命を食べるといこと・・・、どれも本物でなければ味わうことはできません。バラエティに富んだ様々な本物を体験する機会を得た子どもたちは、ネットや本の画像を見るだけでは味わえない感動に包まれたのでした。（露木淳司）



## オリーブの木



猛暑続きの夏でした。この頃は、「想定外」とつくようなことが増え、これまでの常識は通じないと感じることも！この夏は、室内活動が中心となりました。茶道や華道の師範をもっていらっしゃる利用者様の指導による「お茶会」や、ボランティアさんによる「朗読会」を開催しました。また、看護学生さんの実習や、山梨英和中学の生徒さんの訪問で、若い方たちとの触れ合いを楽しみました。夏休み中は、YMCAに来る子どもたちの元気な姿や賑やかな声が聞こえ、耳からも目からも刺激され、「元気パワー」をいっぱい貰いました！（中澤かおる）



## 寄付者

網野 清三郎様・中村 吉孝様・若杉歯科医院様  
ありがとうございました。